

研究タイトル：アイルランド・ケルト民話と日本



氏名：	高木 朝子 / TAKAKI Tomoko	E-mail：	t-takaki@kumamoto-nct.ac.jp
職名：	准教授	学位：	博士(文学)
所属学会・協会：	日本ケルト学会、日本アイルランド協会、熊本大学英文学会		
キーワード：	アイルランド、民話、異界、ケルト、英語教育		
技術相談 提供可能技術：			

研究内容：アイルランドおよびイギリスの伝承文学における異界観

1.アイルランド民話の研究

アイルランド民話における異界観とはどういうものかを主題として、これまで民話に登場する妖精(超自然的存在)やその周辺の描写などについて具体例を抽出し、先行研究の言説を検証しながら、その網羅的な全体像の把握に努めてきた。
具体的手法:呼称、外観、超自然的力、住処、プロットパターン

2.アイルランド、ウェールズ、スコットランド、イングランド(ケルト諸言語地域)の伝承文学における異界観

アイルランド民話における異界観、妖精観がある程度明らかになってきたところで、同じケルト系の言語・文化を背景に持つウェールズ、スコットランド、イングランドの伝承文学におけるそれらを比較する試みを始めている。

3.日本の昔話、神話との比較

日本の昔話における超自然的存在(妖怪、鬼、山姥など)とアイルランド民話における妖精の類似性とその傾向について具体例を抽出して分析し、また全世界的な神話の類似性に関連して考察している。

Tomoko Takaki, "Relationships between Fairies and Humans in Irish Folktales," Research Reports of National Institute of Technology, Kumamoto College, vol.11, 2020.

高木朝子、「ケルト神話」、『はじまりが見える世界の神話』植朗子他、創元社、pp.44-47、2018年

4.アイルランド・ケルトと日本

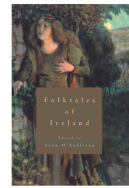
アイルランドと日本は、島国で強国と常に隣り合わせで生き抜いてきた歴史がまず類似している。ケルトと日本という観点では、元々の自然崇拝に近い信仰、新しいものを受け入れる柔軟性や、そこに育まれる独特の創造性に類似点があり、考察が続いている。



『はじまりが見える世界の神話』植朗子他、創元社、2018年



Fairy Legends from Donegal. O h'Eochaidh, Seán. UC'D, 1977.



Folktales of Ireland. O Súilleabháin, Seán. U of Chicago P, 1966.

5.地域とのつながり

熊本市は島根県松江市と並んで小泉八雲ゆかりの地として有名である。小泉八雲(ラフカディオ・ハーン)は、父がアイルランド系イギリス人の軍医で、ハーンは幼少期、アイルランドの伯母宅に預けられ、アイルランド民話に触れながら育っている。日本に来て昔話の収集をしたことにも影響していると考えられている。熊本には熊本アイルランド協会と八雲会という研究会があり、アイルランドに関する市民講座講師や会報の執筆などで、日本、熊本とアイルランドのつながりについても考察が続いている。



Howth Dolmen, Co. Dublin



Saint Brigid's Well, Co. Kildare

提供可能な設備・機器：

名称・型番(メーカー)

名称・型番(メーカー)	